

緊急住宅会議 第15回会議 議事録

日 時：2015年3月27日 19:00～20:30

場 所：内野設計

- 緊急住宅会議議事録集+まとめ配布
- 平成16年7月 台風10号による被害状況と対策（徳島県上那賀町、木沢村）
- 廃校校舎を改修して公営住宅を整備（木沢村 木沢中学校）
 - ・耐震評点0.7をクリアした。住宅なのでOK。公共建築は1.5倍。
 - ・六角形が集めた蜂の巣型のプランが構造的に有利だった？
 - ・入居者は高齢者が多かった。復興住宅の宿命・・・
- 徳島県営住宅集約化PFI事業
- 建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律案について（H27.3.24国交省）
 - ・省エネ性能の優れた建築物は容積率の上乗せあり。
 - ・空気清浄、フィルター、PM除去は難しい。クリーンルーム？免疫力は低下する。
- 「まぜのおかオートキャンプ場・事前復興計画における関連施設整備構想」意見交換
 - ・復興への手法としては嵩上げするか山を切って平地を作るか？という議論になるが、まぜのおかはすでにその作業が終わった高地の平地。
 - ・仮設期：密集→間引き→恒久的街並み。
 - ・そのためには仮設住宅の性能をあげておく必要がある。
 - ・「浅川が高地移転するとしたら」という視点を。
 - ・今の集落の実情を調査しておいて、コミュニティを再現する・・・
 - ・体育館に500人収容する設定。浄化槽容量は？→仮設トイレで補てん？
 - ・2、3戸一体型、一戸建て、まぜてゆく。
 - ・モービル仮設を混ぜておいて、住民が減るのに合わせて他へ移動する。
 - ・場所があっても被災でいったんインフラは壊れることを想定する。
 - ・まずはスピード重視で建てたプレ協仮設と、徐々に入れ替えていく。
 - ・広めの、ミーティングができる棟がほしい。
 - ・必要戸数だけをならべた仮設村→集落に必要な要素をちりばめた小さなまちづくり。
 - ・日建設計総合研究所「仮設住宅コミュニティづくり配置計画案」参照
 - ・「粗」（恒久住宅）と「密」（仮設住宅）の計画を作って、時とともに変容する計画を。
 - ・集会所／50戸→／2、30戸
 - ・南面することを重視した東西に長い配置→コミュニティを重視した南北に長い配置。
 - ・住棟の入り口にあたる場所に高齢者を。
 - ・10年単位で、街が変わっていく計画をたてる。
 - ・移転した後の低地の町はレジャーに、民宿に。産業を、人集めを。
 - ・青空学校で、まぜのおかに愛着を持ってもらう。
 - ・浅川の人が、事前にまぜのおかで畑を持つ。
 - ・移住するとすれば、ソフトで、緩やかに、そんな気持ちになってもらうことが重要。
- 次回 たしか未定・・・4月17日（金）どうでしょう・・・